

新規導入編

ここでは、GLOOBE 2020を新規にセットアップする方法を解説します。

お使いのGLOOBEをバージョンアップする方法、または追加購入したオプションプログラムをセットアップする方法については、GLOOBEセットアップDVD内の「セットアップガイド」より「バージョンアップ/オプション追加編」をご覧ください。

1. セットアップの前に.....	2
2. プログラムのインストール.....	4
【補足】個別インストールについて.....	6
3. プログラムの起動（ネット認証 占有）.....	7
【補足】ネット認証（占有）で別の製品を使用している場合.....	8
4. FCコンシェルジュのユーザー登録.....	9
【補足】プロダクトIDの自動認証/認証解除の設定を変更するには.....	10
【補足】プロダクトIDの認証を手動で解除するには.....	10
【補足】GLOOBEを習得するには.....	11
5. ネット認証 LANのセットアップ.....	12
6. プログラムの起動（ネット認証 LAN）.....	14
【補足】ネット認証 LANサーバーの機能.....	15
7. プログラムの起動（ネット認証 共有）.....	16
8. SNS-Wのセットアップ.....	17
9. SNS-LAN-Xのセットアップ.....	18
10. プログラムの起動（USBプロテクト）.....	20
【補足】SNS-LAN-Xサーバーの機能.....	21

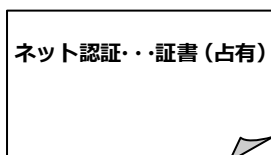
1 セットアップの前に

プロテクトタイプの確認

GLOOBE のプロテクトには次の 5 種類があります。

お持ちのタイプを確認し、ネット認証ライセンス証書または USB プロテクトを準備します。

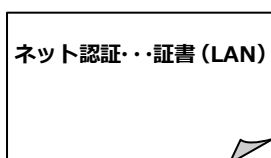
ネット認証ライセンス（占有）



USBプロテクト【SNS-W】



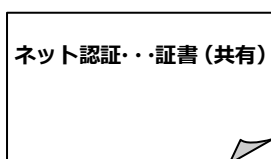
ネット認証ライセンス（LAN）



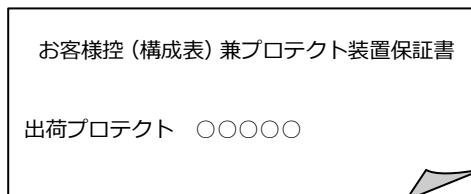
USBプロテクト【SNS-LAN-X】



ネット認証ライセンス（共有）



※ プロテクトタイプは、同梱の「お客様控（構成表）兼プロテクト装置保証書」にも記載されています。



● セットアップの前に確認してください

- ・セットアップするには、「コンピューターの管理者（Administrators）」権限のアカウントでサインインしている必要があります。
- ・セットアップ中にコンピューターの再起動が必要な場合があります。起動中のプログラムがあれば、終了しておきます。
- ・お使いのウイルス対策ソフトによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。このような場合には、ウイルス対策ソフトなどの常駐プログラムを一時的に終了してから、セットアップを行ってください。

● GLOOBE 体験版をインストールされている方へ

GLOOBE 2020 製品版を新規セットアップするコンピューターに、2019 以前の体験版がインストールされている場合は、体験版をアンインストールしてから、製品版をセットアップしてください。2020 体験版がインストールされている場合は、新規セットアップの流れに従って製品版をセットアップしてください（GLOOBE などのプログラムは最新版に更新されます）。詳しくは、GLOOBE セットアップ DVD 内の「セットアップガイド」より「GLOOBE 体験版をお使いの方へ」を参照してください。

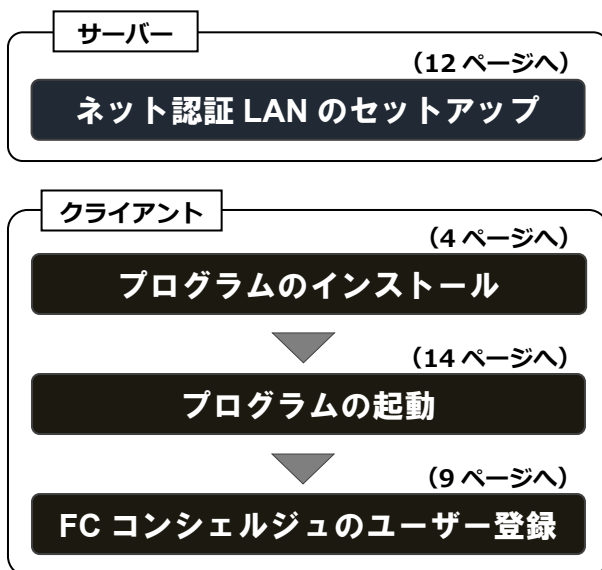
新規セットアップの流れ

GLOOBE の新規セットアップは、プロテクトのタイプに応じて以下のような流れになります。

■ ネット認証ライセンス（占有）の場合



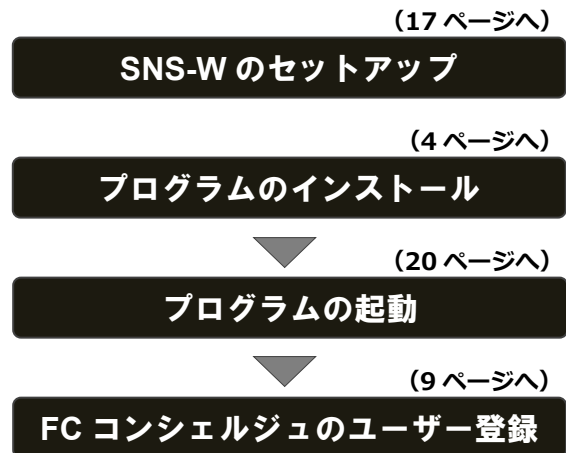
■ ネット認証ライセンス (LAN) の場合



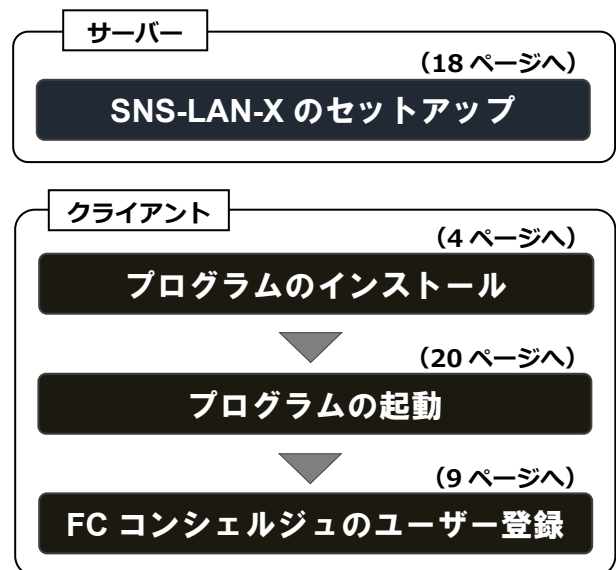
■ ネット認証ライセンス（共有）の場合



■ USB プロテクト【SNS-W】の場合



■ USB プロテクト【SNS-LAN-X】の場合



2 プログラムのインストール

GLOOBE と関連するプログラムを新規にインストールします。

1. コンピューターに「GLOOBE セットアップ DVD」をセットします。
2. 「一括インストール」を選択します。

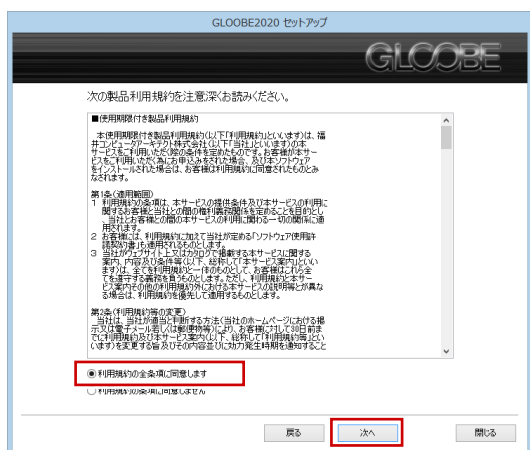


※ 上記画面が表示されない場合は、DVD 内の「Install.exe」を実行してください。

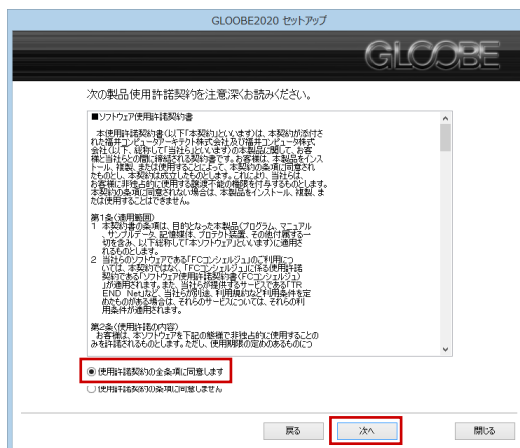
3. GLOOBE セットアップへようこそ 次へ進みます。



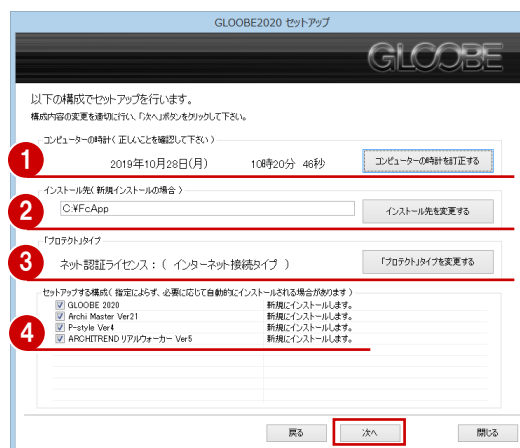
4. 「利用規約の全条項に同意します」を選択して、次へ進みます。



5. 「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して、次へ進みます。



6. インストールの準備



1. コンピューターの時計を確認します。日時がずれているとライセンスの認証が正常に行えません。右側のボタンをクリックし、正しい日時を設定してください。
2. インストール先を確認します。例えば D ドライブにインストールする場合は、パスを「D:¥FcApp」に変更します。

(次ページへ続きます)

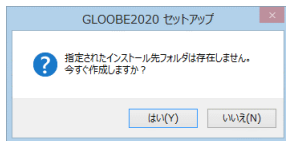
- ③ プロテクトタイプを確認します。
 USB プロテクト【SNS-W】を使用する場合は、
 右側のボタンをクリックして「**SNS**を購入されている場合 (USB 接続タイプ)」に変更します。
 ネット認証ライセンス (LAN) または USB プロテクト【SNS-LAN-X】を使用する場合は「**プロテクトドライバを選択しない (LAN タイプを…)**」に変更します。



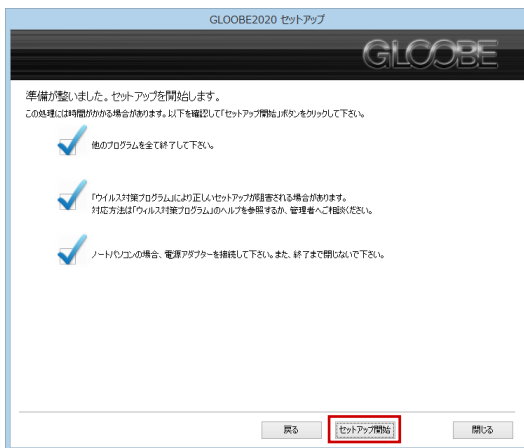
- ④ セットアップする構成を確認します。
リアルウォーカーを購入している場合は、チェック
を付けてインストールしてください。

設定を確認して、次へ進みます。

7. メッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。



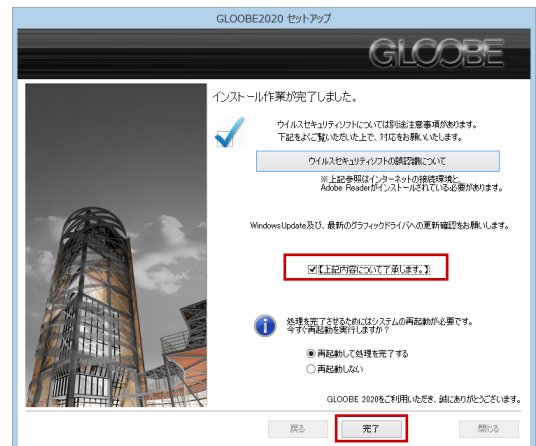
8. インストール準備の完了
「セットアップ開始」をクリックして、インストールを開始します。



プログラムのインストール処理が開始します。
 インストールするプログラムや動作環境によっては、
 時間がかかる場合があります。



9. インストールが終了したら、【**上記内容について了承**
します。】にチェックを付けて「完了」をクリックします。



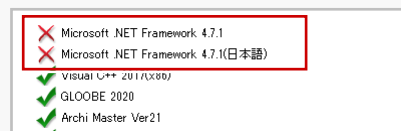
※ 再起動が必要な場合は、一旦再起動してから次の Step へ進みます。

以上でプログラムのインストールは完了です。
デスクトップに作成された GLOBE アイコンをダブルクリックして、プログラムを起動してみましょう。

ネット認証ライセンス (占有) の方は 7 ページ
 ネット認証ライセンス (LAN) の方は 14 ページ
 ネット認証ライセンス (共有) の方は 16 ページ
 USB プロテクト【SNS-W】の方は 20 ページ
 USB プロテクト【SNS-LAN-X】の方は 20 ページ
へ進みます

● Microsoft .NET Framework のインストールについて

「Microsoft .NET Framework」は、インストール後に再起動してもう一度インストールする必要がある場合があります。
 右図のように「×」が表示されている場合は、再起動後もう一度「一括インストール」を行ってください。



● GLOOBE のプログラムについて

GLOOBE には 64 ビット版と 32 ビット版のプログラムがあり、64 ビット OS の場合は 64 ビット版が、32 ビット OS の場合は 32 ビット版がインストールされます。

【プログラムのインストール先】

- ¥基準フォルダ¥GLOOBE¥Program64 : 64 ビット版のプログラムフォルダ
- ¥基準フォルダ¥GLOOBE¥Program : 32 ビット版のプログラムフォルダ

補足 個別インストールについて

DVD の「各アプリ個別インストール」には、各アプリケーションやプロテクトシステムなどを個別にインストールする機能が用意されています。

一括インストールでは、GLOOBE などのプログラムとプロテクトシステムなどが、すべて指定したインストール先（基本フォルダ）にインストールされます。

例えば、インストール先の容量の問題で、あるプログラムだけを別のドライブにインストールしたい場合は、一括インストールでそのプログラム以外をインストールしたあとで、「各アプリ個別インストール」タブからそのプログラムをインストールしてください。



また、その他に以下の機能も収録されています。

● GLOOBE Model Viewer

GLOOBE で設計した BIM 建物モデルや属性情報が閲覧できる無償のビューワーアプリです。BIM ソフトを持っていない人でも「GLOOBE Model Viewer」を使って BIM モデルを閲覧できるため、建物のオーナーや関係者と共有ができます。

※ GLOOBE Model Viewer へモデルデータを出力する機能は有料オプションです。

● GLOOBE EXCEL アドイン

GLOOBE 2015 より部材情報などを MDB ファイルに出力できるようになりました。「GLOOBE EXCEL アドイン」を使用すると、この MDB ファイルを Excel で読み込んで確認・編集することができます。アドインツールで変更した内容を MDB ファイルに書き戻して GLOOBE のデータに反映できます。また、設計に必要な帳票や資料などを作成することもできます。

※ EXCEL アドインツールは、Excel 2010 以降に対応しています。

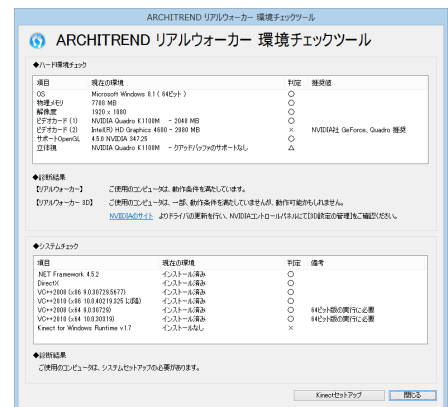
● リアルウォーカー環境チェックツール

リアルウォーカーを購入した方は、「リアルウォーカー環境チェックツール」を実行して、お使いのコンピューターがリアルウォーカーの動作条件を満たしているかどうかを確認できます。動作条件を満たしていない場合は、判定が「×」の環境を改善してください。

※ システムチェックでは、システムのインストール状況を確認できます。

リアルウォーカーをインストールすると、必要なシステムもインストールされます。

※ リアルウォーカーで Kinect コントローラを使用する場合は、「Kinect セットアップ」を選択して、必要なシステムをインストールしてください。



● ARCHI Box for Windows

プレゼンデータ共有サービス「ARCHI Box」にアップロードした CG パース、図面、3D データなどを PC や Windows タブレットなどで閲覧できる専用のビューアです。

3 プログラムの起動（ネット認証占有）

プロダクト ID を認証して、GLOOBE を起動します。

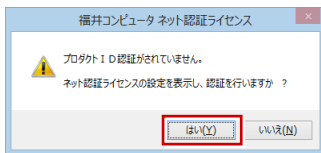
1. デスクトップの GLOOBE アイコンをダブルクリックします。



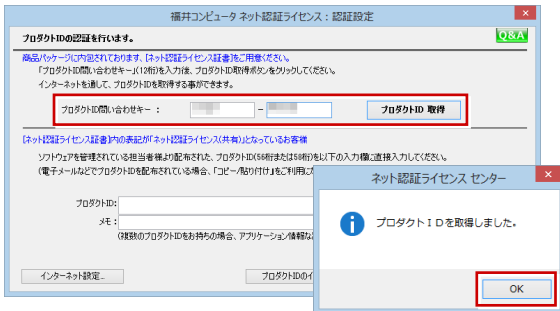
※ ネット認証（占有）を別の製品で使用している場合は、プロダクトの確認メッセージが表示されます。**8 ページ**を参照して、プログラムを起動してください。



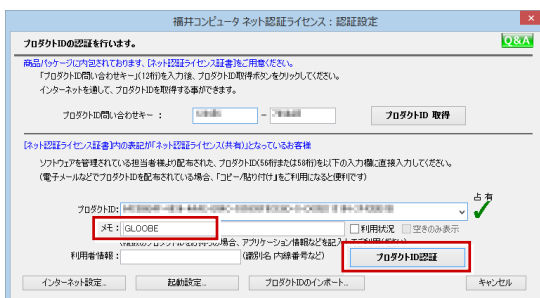
2. 初めての起動の場合、認証のメッセージが表示されます。「はい」をクリックします。



3. 「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されている 6 桁+6 桁の「プロダクト ID 問い合わせキー」を入力して、「プロダクト ID 取得」をクリックします。



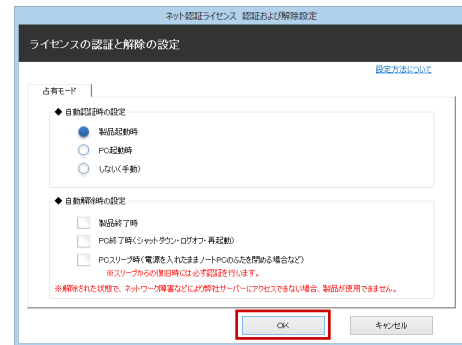
4. 「プロダクト ID」が取得されます。「メモ」に製品名などを入力して、「プロダクト ID 認証」をクリックします。



プロダクト ID の取得や認証が正常にできない場合は、「インターネット設定」を押して、プロキシ設定を変更してみてください。

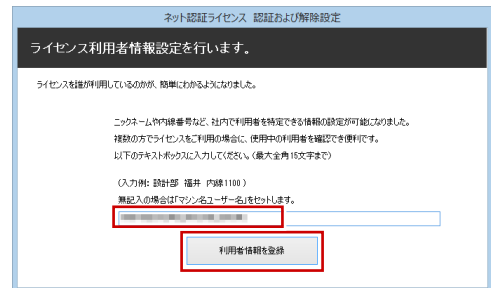
5. 「ネット認証ライセンス 認証および解除設定」画面が表示されます。

ご利用の環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を選択します。



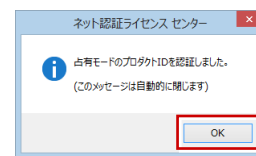
※ この設定により、どのタイミングでプロダクト ID を認証／解除するかが決まります。あとから設定を変更する方法については、**10 ページ**を参照してください。

6. 利用者情報を入力して「利用者情報を登録」を押します。



※ 利用者情報は、プロダクト ID の利用者を確認する際に使用されます。社員番号やコンピューターの識別名など利用者を特定できる情報を入力してください。

7. 認証完了のメッセージを閉じます。



GLOOBE が起動します。

プログラムが起動することを確認したら、FC コンシエルのユーザー登録を行ってください。
(9 ページへ進みます)

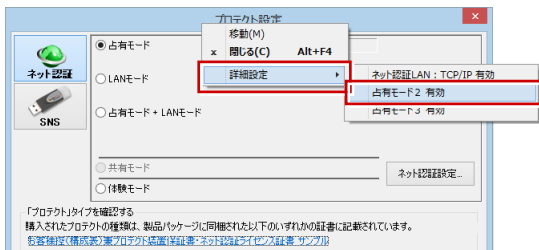
補足 ネット認証（占有）で別の製品を使用している場合

すでに弊社製品をネット認証ライセンス（占有モード）で使用している場合、別の製品のプロダクトIDは「占有モード2」、もしくは「占有モード3」を使って追加認証してください。ここでは、「占有モード2」を使用する操作で解説します。

1. GLOBBE の起動時に、プロテクトの確認メッセージが表示された場合は、「OK」をクリックします。



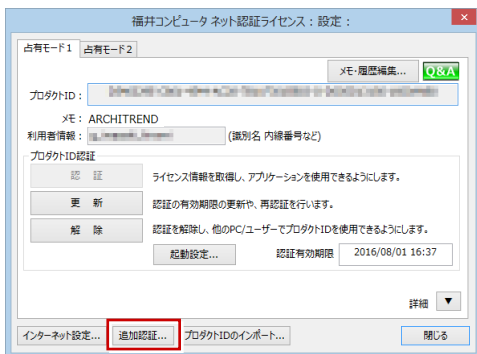
2. 「プロテクト設定」画面のタイトルバーを右クリックして、「詳細設定」の「占有モード2有効」を選びます。



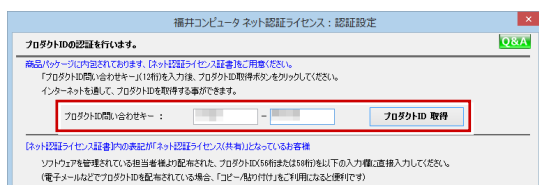
3. 「占有モード1」がONであることを確認して、「ネット認証設定」をクリックします。



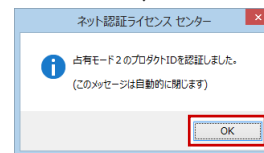
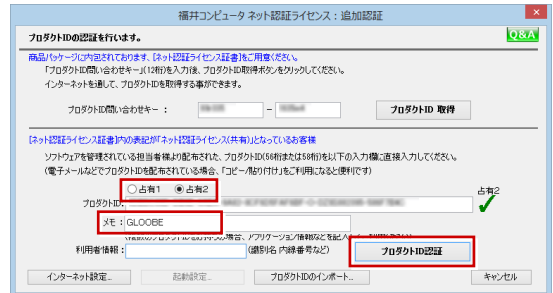
4. 「追加認証」をクリックします。



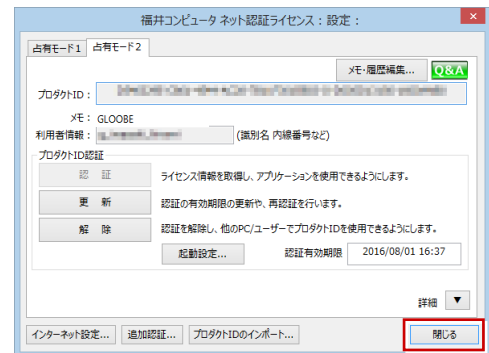
5. 「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されている6桁+6桁の「プロダクトID 問い合わせキー」を入力して、「プロダクトID 取得」をクリックします。



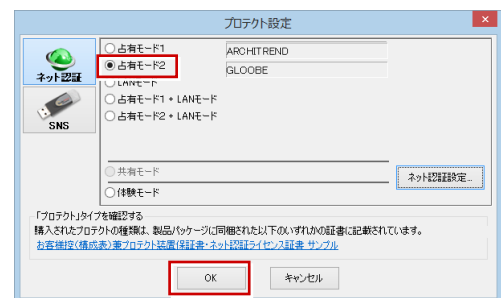
6. 「プロダクトID」が取得されます。「占有2」をON、「メモ」にこのプロダクトIDで利用できる製品名などを入力して、「プロダクトID 認証」を押します。



7. 「閉じる」をクリックします。



8. 「占有モード2」がONであることを確認して、「OK」をクリックします。



GLOBBE が起動します。

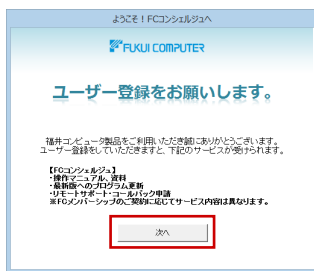
4 FC コンシェルジュのユーザー登録

FC コンシェルジュは、福井コンピュータグループが提供する各種 WEB サービスを管理するアプリケーションです。ユーザー登録を行うと、以下のようなサービスを利用することができます。

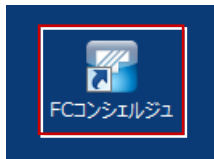
- ご利用の製品に関する最新情報のご案内
- ご利用の地域でおこなわれるイベントやセミナーのご案内
- 電話サポートの情報やリモートサポートの接続
- ソフトウェアのアップデート、個別ダウンロードなど

※ FC コンシェルジュのご利用には、インターネットに接続できる環境が必要です。

1. 「ユーザー登録を…」画面が表示されている場合は、「次へ」をクリックします。



※「ユーザー登録を…」画面が表示されていない場合は、デスクトップのアイコンをダブルクリックしてください。

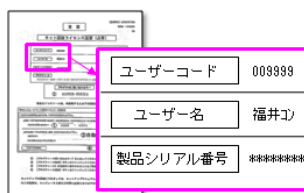


2. 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意します。

3. ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

4. 「ユーザーコード」と「製品シリアル」の入力を求められた場合は、「ネット認証ライセンス証書」を参照して入力します。

ネット認証ライセンス証書



USB プロテクト裏面のシール



5. ご契約者情報が表示されたら、「ご利用者名」「メールアドレス」などを入力して「登録する」をクリックします。

6. ユーザー登録が完了すると、FC コンシェルジュのご案内ページが開きます。



7. 上部のメニューボタンをクリックして、画面を切り替えます。以下は「プログラム更新」の画面です。



※ 詳しくは FC コンシェルジュ画面左下の「FC コンシェルジュヘルプ」を参照してください。

以上で GLOOBE の新規セットアップは完了です。
チュートリアルやマニュアルを利用して、GLOOBE 基本操作を習得しましょう。詳しくは 11 ページをご覧ください。

4. FC コンシェルジュのユーザー登録

補足 プロダクト ID の自動認証/認証解除の設定を変更するには

プロダクト ID の自動認証および認証解除のタイミングを変えたい場合は、以下の手順で設定を変更します。

■ FC コンシェルジュを使用している場合



■ FC コンシェルジュを使用していない場合



Windows 画面右下のタスクバーのアイコンから「ネット認証ライセンスセンター」を起動して、「起動設定」をクリックします。

補足 プロダクト ID 認証を手動で解除するには

お使いのプロダクト ID を、他のユーザーまたは他のコンピュータで使用したい場合は、以下のように手動で認証を解除します。

■ FC コンシェルジュを使用している場合



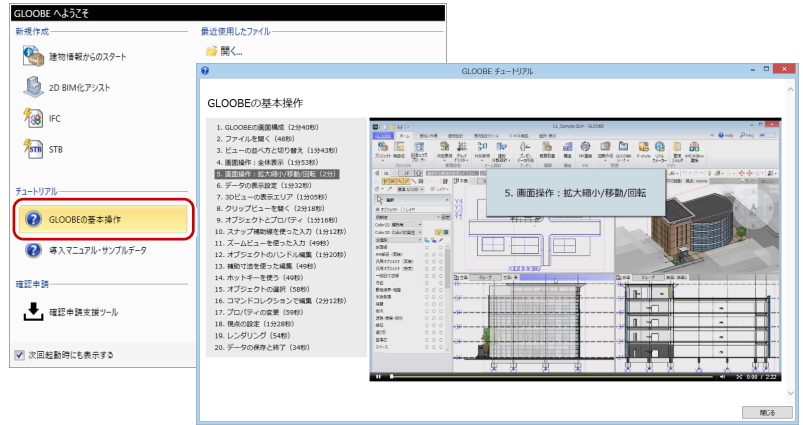
■ FC コンシェルジュを使用していない場合



補足 GLOOBE を習得するには

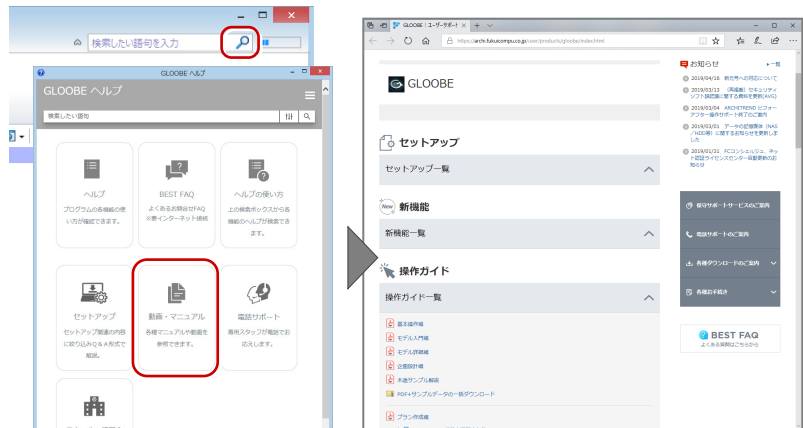
■ チュートリアル（動画）

GLOOBE の起動時に表示される起動メニューから GLOOBE の基本操作をわかりやすくまとめたチュートリアル（動画）が開きます。GLOOBE を初めて操作する方は、まずこのチュートリアルで基本的な操作を習得してください。



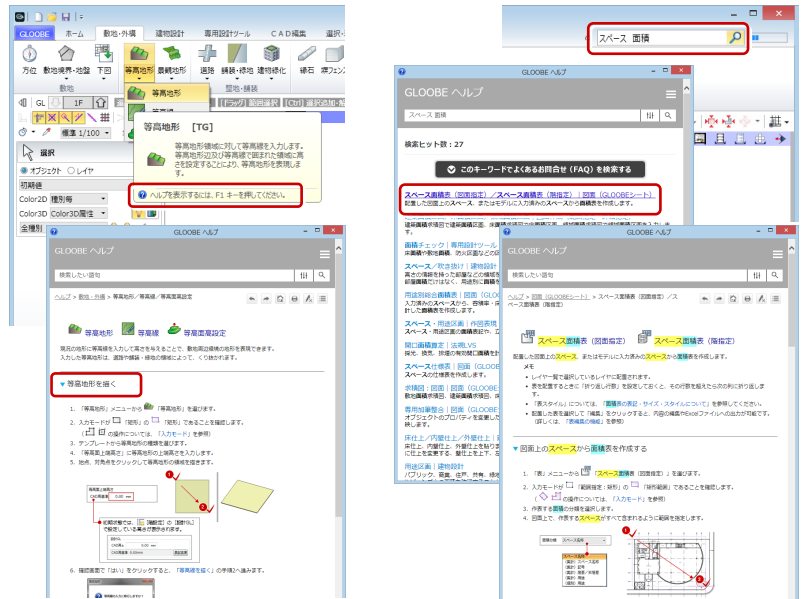
■ マニュアル・サンプルデータ

GLOOBE の使い方を解説した最新のマニュアルデータやサンプルデータは、「ユーザーサポートサイト」からご利用できます。GLOOBE ヘルプのトップページから「ユーザーサポートサイト」にアクセスできます。



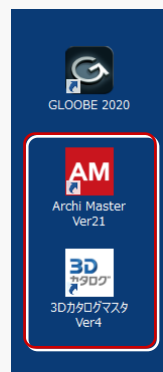
■ GLOOBE ヘルプ

GLOOBE の機能の使い方や操作方法がわからないときは、検索ボックスにキーワードを入力してヘルプを検索、または機能のポップヒントから F1 キーを押して、ヘルプをご利用ください。
※詳しくは「ヘルプの使い方」をご覧ください。



● Archi Master・3D カタログマスタについて

GLOOBE と一緒にインストールされる Archi Master、3D カタログマスタは、GLOOBE で利用できる建材・設備データを管理するためのアプリケーションです。GLOOBE にある建材・設備データの入力機能については、「操作ガイド」の導入マニュアル「基本操作編」の「3D カタログマスタ/Archi Master について」を参照してください。



5 ネット認証 LAN のセットアップ

Step1 ネット認証 LAN サーバーのインストール

使用するサーバーに、ライセンス管理システムをインストールします。

※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

※ ネット認証 LAN サーバーの機能については、**15 ページ**を参照してください。

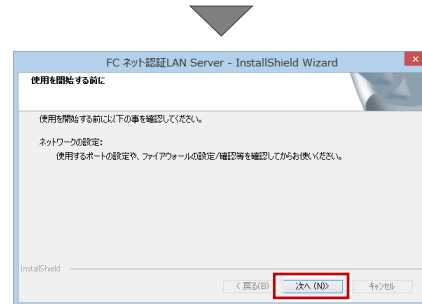
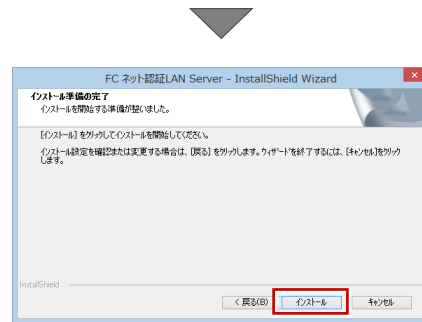
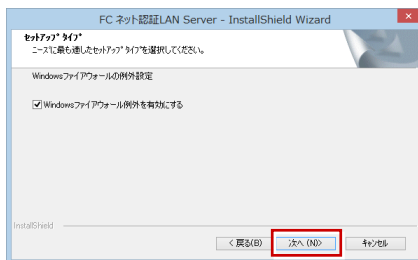
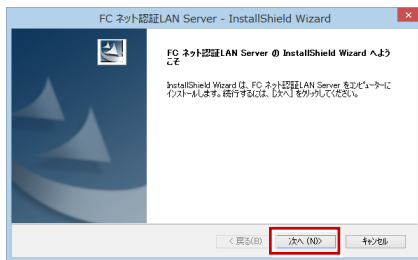
1. サーバーに「GLOBE セットアップ DVD」をセットします。

2. 「各アプリ個別インストール」に切り替えて、「ネット認証ライセンス LAN モードサーバー」をクリックします。

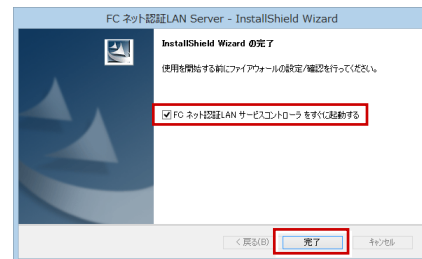


※ 上記画面が表示されない場合は、DVD 内の「Install.exe」を実行してください。

3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



4. 「FC ネット認証 LAN・・・すぐに起動する」にチェックを付けて「完了」をクリックします。



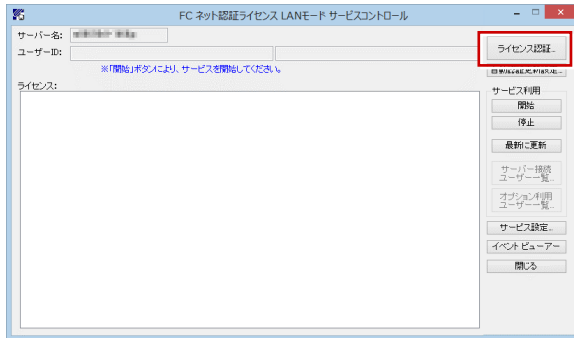
※ 再起動が必要な場合は、メッセージに従って再起動してください。

(次ページへ進みます)

Step2 プロダクト ID の認証（サーバー）

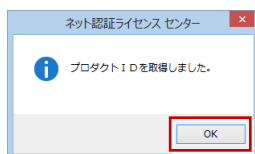
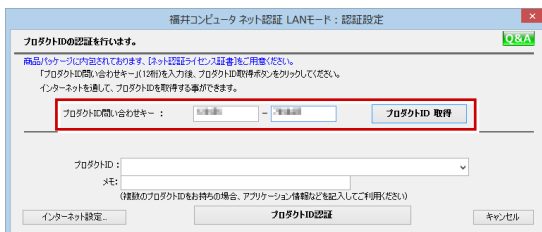
インターネットを通してプロダクト ID の認証を行い、クライアント PC からプロダクト ID に関連付けられたライセンスを利用できる状態にします。

1. 「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」画面より「ライセンス認証」をクリックします。

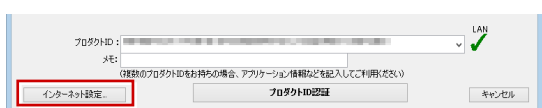


※ 上記画面が表示されない場合は、スタート画面のアプリケーションの「FC ネット認証 LAN Server」より「FC ネット認証 LAN サービスコントローラ」を起動してください。

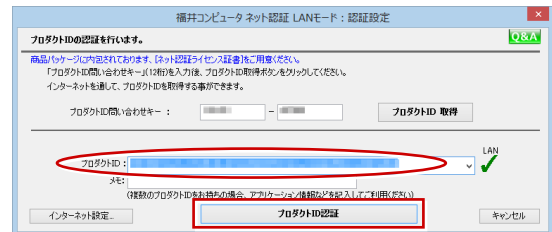
2. 「ネット認証ライセンス証書 (LAN)」に記載されている 6 桁+6 桁の「プロダクト ID 問い合わせキー」を入力して、「プロダクト ID 取得」をクリックします。



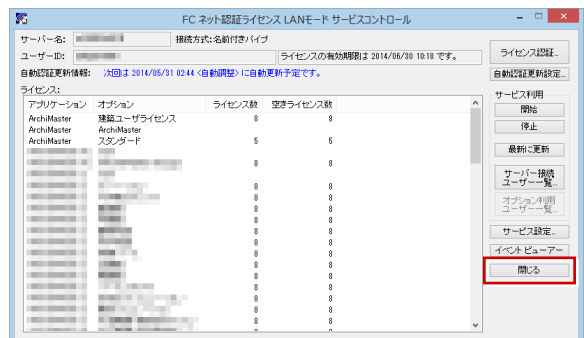
プロダクト ID の取得や認証が正常にできない場合は、「インターネット設定」を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. 「プロダクト ID」が取得されたのを確認し、「プロダクト ID 認証」をクリックします。



4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、「閉じる」をクリックします。



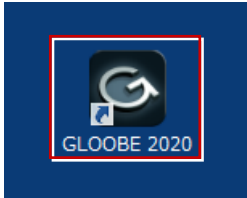
以上でネット認証 LAN のセットアップは完了です。
続いて、クライアント PC でプログラムのインストールを行ってください。

(4 ページへ進みます)

6 プログラムの起動（ネット認証 LAN）

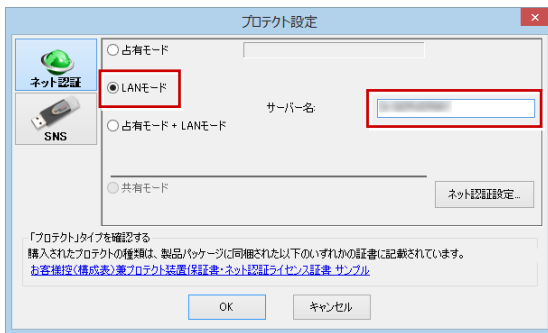
使用するプロテクトを設定して、GLOOBE を起動します。

1. デスクトップの GLOOBE アイコンをダブルクリックします。

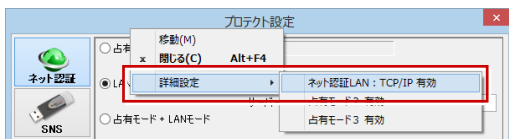


2. 初めての起動の場合、プロテクト設定画面が表示されます。

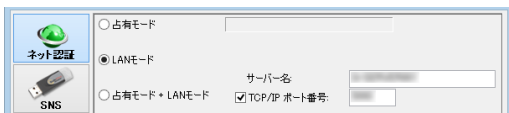
「ネット認証」の「LAN モード」をクリックして、「サーバー名」にネット認証 LAN サーバーをセットアップしたコンピューター名を入力します。



「TCP/IP ポート番号」を指定する場合は、プロテクト設定画面のタイトルバーで右クリックして、「詳細設定」の「ネット認証 LAN : TCP/IP 有効」を選択します。



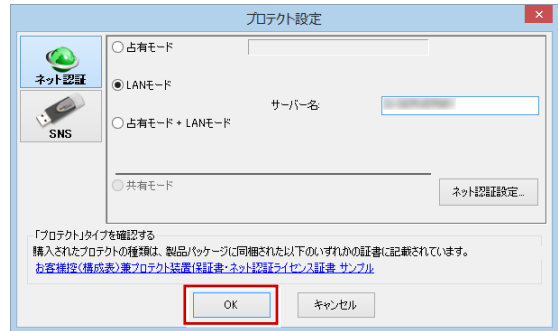
「TCP/IP ポート番号」にチェックを付けて、番号を入力します。



※ ポート番号には、「ネット認証 LAN サービスコントローラ」の「サービス設定」で設定されている番号を入力してください。

ネット認証占有とネット認証 LAN を併用している場合は、「占有モード + LAN モード」を選択してください。

3. 「OK」をクリックして画面を閉じます。



GLOOBE が起動します。

プログラムが起動することを確認したら、FC コンシェルジュのユーザー登録を行ってください。
(9 ページへ進みます)

補足 ネット認証 LAN サーバーの機能

ネット認証 LAN サーバーは、ライセンス情報の管理やサービスの開始/停止などを行うアプリケーションです。スタート画面のアプリ一覧の「FC ネット認証 LAN Server」より「FC ネット認証 LAN サービスコントローラ」を選択すると、次のような画面が表示されます。

The screenshot shows the main interface of the FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール application. It includes a header with the application name, a table of licenses, and a right-hand sidebar with service control buttons. Callout boxes provide detailed explanations for various elements:

- 「サーバー名」**: サーバーのコンピュータ名が表示されます。
- 「ユーザーID」**: ネット認証 LAN のユーザーIDが表示されます。
- 「ライセンス数」**: 同時使用が可能なライセンス数が表示されます。
- 「空きライセンス数」**: 現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。
- 「サービス設定」**: 接続設定やログファイルを設定します。
 - 「接続」タブ**: 接続プロトコルを設定します。
 - 「動作ログ」タブ**: 使用されたアプリケーションの動作状況を記録します。
 - 「使用状況ログ」タブ**: 使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。
- 「ライセンス認証」**: プロダクト ID の認証・更新などを行います。
- 「自動認証更新設定」**: ライセンスの認証自動更新について設定します。
- 「開始」**: サービスを開始します。ネット認証 LAN を使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。
- 「停止」**: サービスを停止します。
- 「最新に更新」**: 空きライセンスなどを最新の情報に更新します。
- 「サーバー接続ユーザー一覧」**: ライセンスを使用しているユーザーを確認します。
- 「オプション利用ユーザー一覧」**: 選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。
- 「イベントビューアー」**: Windows 標準機能の「イベントビューアー」を開きます。ネット認証 LAN サーバーが動作しないときなど、サポートの対応時に使用します。

●「動作ログ」について

アプリケーションの動作状況を記録します。使用するには、

1. 「ログの出力」チェックボックスをオンにし、「パス」に出力先のフォルダを設定します。
2. 「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」でのサービス「開始」時に、ログ出力設定が有効な場合に、ログの記録を開始します。
3. サービスの「停止」で、ログファイルが保存されます。ファイル名は、ネット認証 LAN 動作ログ_ (日時).log です。

●「使用状況ログ」について

「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、

1. 「ログの出力」チェックボックスをオンにし、「パス」に出力先のフォルダを設定します（「間隔」と「最大履歴数」は適宜に設定）。
2. 「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
3. 「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」を閉じると、ログファイル（FukuiComputer.TrendX.InetUserLicensing.Service.Controller.log）が保存されます。
4. 再度「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。

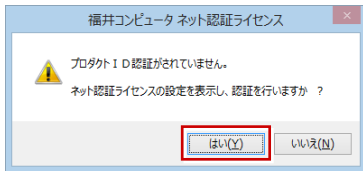
7 プログラムの起動（ネット認証共有）

プロダクト ID を認証して、GLOOBE を起動します。

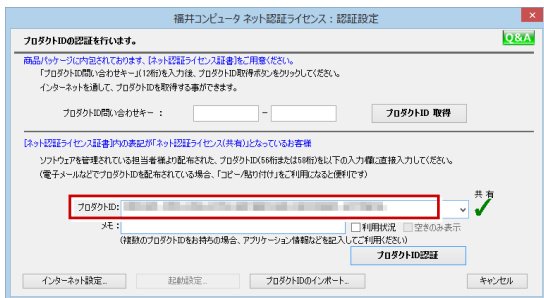
1. デスクトップの GLOOBE アイコンをダブルクリックします。



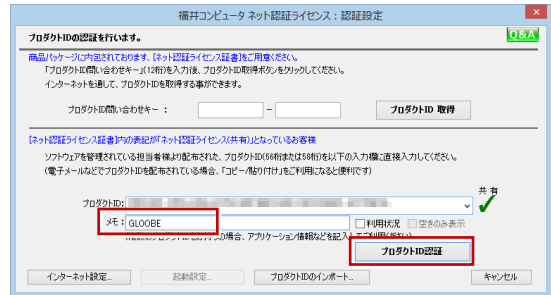
2. 初めての起動の場合、認証のメッセージが表示されます。「はい」をクリックします。



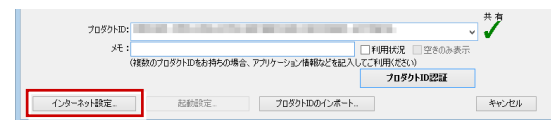
3. ソフトウェア管理者より配布された「プロダクト ID」を入力します。



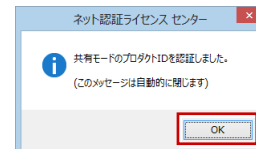
4. 「メモ」に製品名などを入力して、「プロダクト ID 認証」をクリックします。



プロダクト ID の取得や認証が正常にできない場合は、「インターネット設定」を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



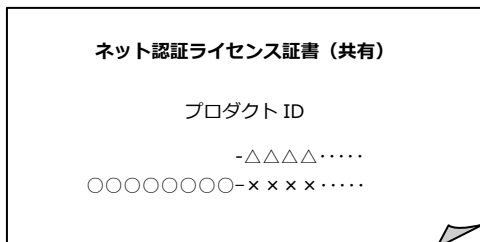
5. 認証完了のメッセージを閉じます。



GLOOBE が起動します。

● ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクト ID」は、「ネット認証ライセンス証書（共有）」に記載されています。ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどのユーザーがどの「プロダクト ID」を使用するか決めて配布しておいてください。



プログラムが起動することを確認したら、FC コンシェルジュのユーザー登録を行ってください。

（9 ページへ進みます）

8 SNS-W のセットアップ

GLOBE をセットアップするコンピュータに、USB プロテクト【SNS-W】のシステムをインストールします。

1. 弊社製品のプロテクトに限らず、サーバーに USB プロテクトが装着されている場合は、すべて外しておきます。

2. コンピューターに「**GLOBE セットアップ DVD**」をセットします。

3. 「**各アプリ個別インストール**」に切り替えて、「**USB プロテクトドライバー**」をクリックします。



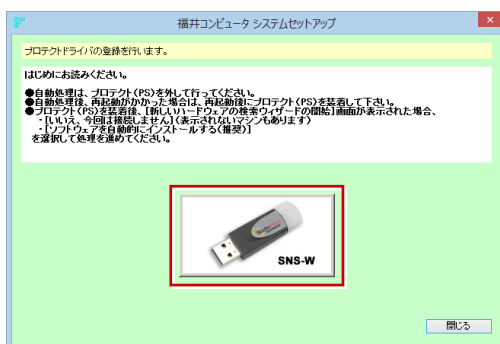
※ 上記画面が表示されない場合は、DVD 内の「Install.exe」を実行してください。

4. コンピューターの日時を確認し、USB プロテクトの画像ボタンをクリックします。

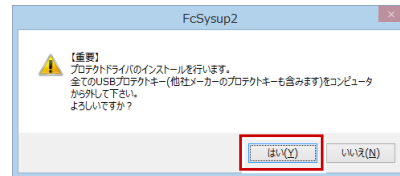


※ 日時がずれていると、ライセンスを正しく認識できません。「**日時の変更**」をクリックして、正確な日時を指定してください。

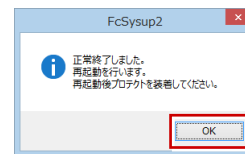
5. 「**SNS-W**」をクリックします。



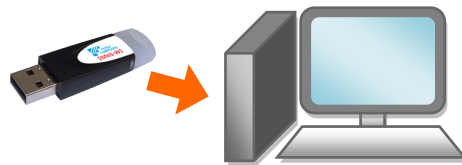
6. 全ての USB プロテクトキーをコンピュータから外したら「**はい**」をクリックします。



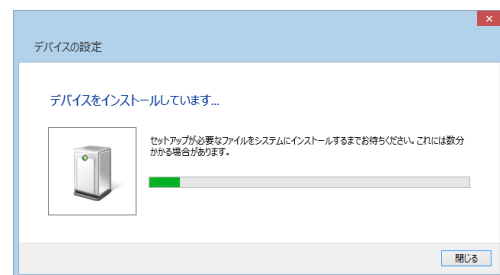
7. インストールが終了したら「**OK**」をクリックして、再起動を行います。



8. 再起動後、コンピュータに USB プロテクトを装着します。



プロテクトが認識され、デバイスがインストールされます。



以上で SNS-W のセットアップは完了です。
続いて、プログラムのインストールを行ってください。
(4 ページへ進みます)

9 SNS-LAN-X のセットアップ

Step1 システムセットアップ

ライセンスを管理するサーバーに、USB プロテクト【SNS-LAN-X】のシステムをインストールします。

※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

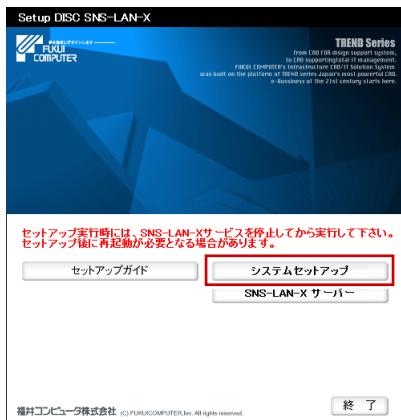
1. 弊社製品のプロテクトに限らず、サーバーに USB プロテクトが装着されている場合は、すべて外しておきます。

2. サーバーに「SNS-LAN-X 用ライセンス CD」をセットします。



SNS-LAN-X 用ライセンス CD

3. 「システムセットアップ」をクリックします。



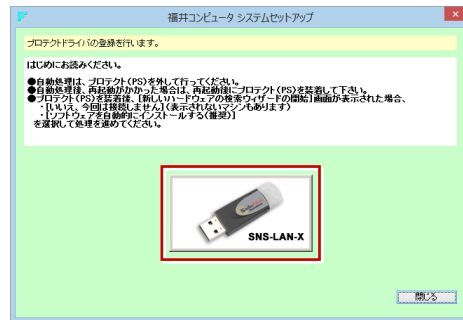
※ 上記画面が表示されない場合は、CD 内の「Install.exe」を実行してください。

4. コンピューターの日時を確認し、USB プロテクトの画像ボタンをクリックします。

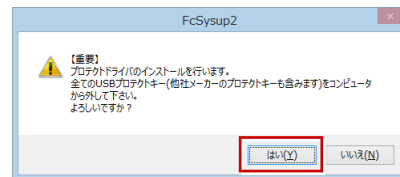


※ 日時がずれていると、ライセンスを正しく認識できません。「日時の変更」をクリックして、正確な日時を指定してください。

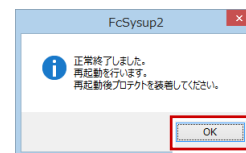
5. 「SNS-LAN-X」をクリックします。



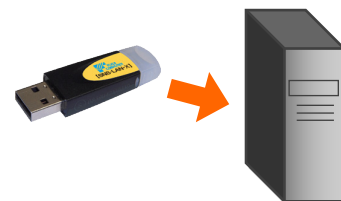
6. 全ての USB プロテクトキーをサーバーから外したら「はい」をクリックします。



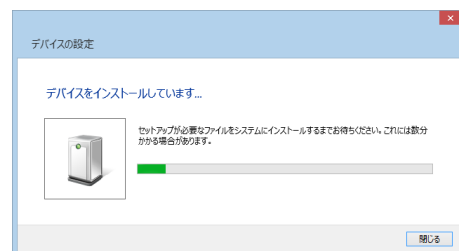
7. インストールが終了したら「OK」をクリックして、再起動を行います。



8. 再起動後、サーバーに USB プロテクトを装着します。



プロテクトが認識され、デバイスがインストールされます。



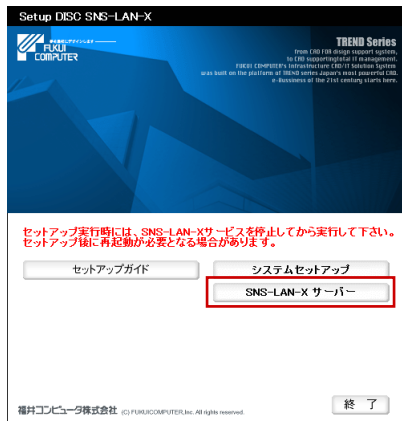
(次ページへ進みます)

Step2 SNS-LAN-X サーバーのインストール

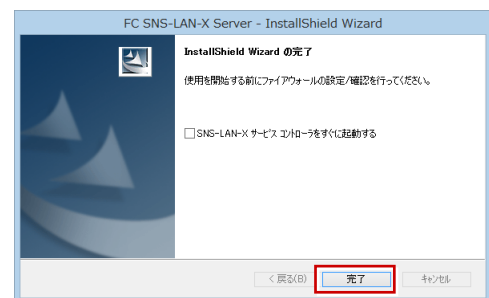
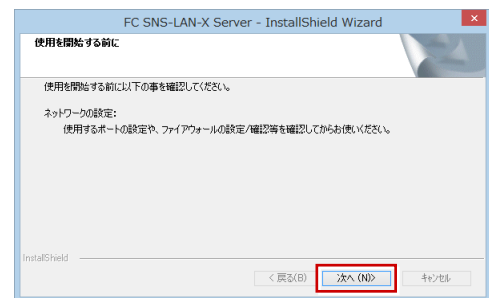
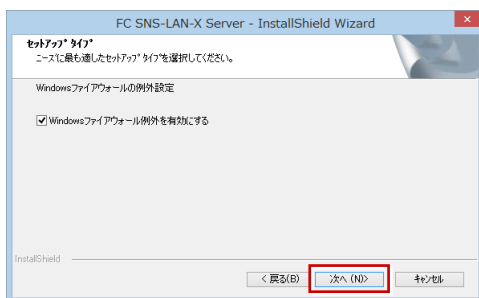
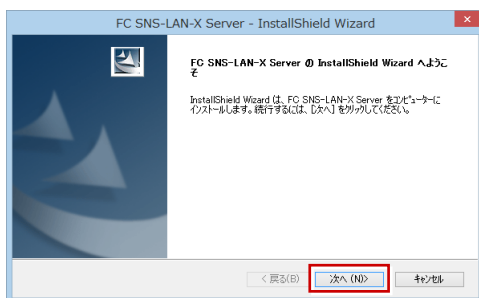
ライセンスを管理するサーバーに、ライセンス管理プログラムをインストールします。

※ SNS-LAN-X サーバーの機能については、21 ページを参照してください。

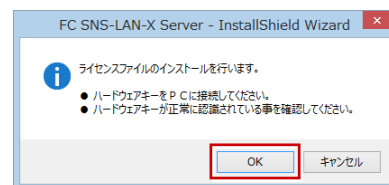
1. サーバーに「SNS-LAN-X 用ライセンス CD」をセットします。
2. 「SNS-LAN-X サーバー」をクリックします。



3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



以下のメッセージが表示されたら、インストールしているサーバーに USB プロテクトを装着して「OK」をクリックします。



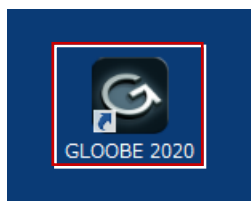
以上で SNS-LAN-X のセットアップは完了です。
続いて、クライアント PC でプログラムのインストールを行ってください。

(4 ページへ進みます)

10 プログラムの起動 (USB プロテクト)

使用するプロテクトを設定して、GLOOBE を起動します。

1. デスクトップの GLOOBE アイコンをダブルクリックします。

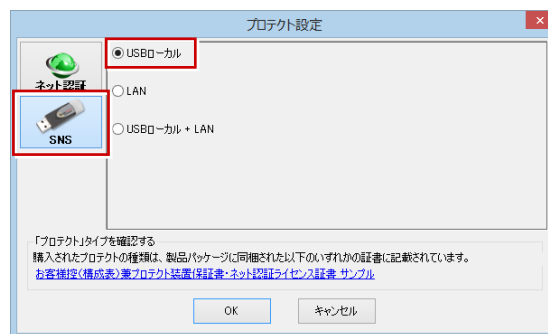


GLOOBE が起動します。

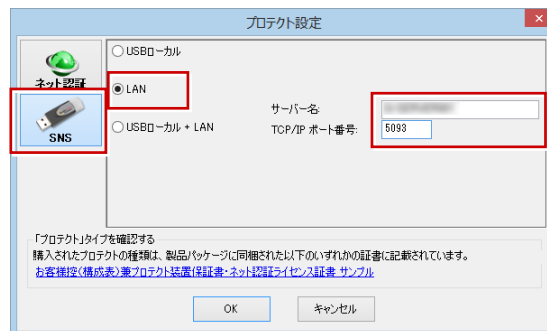
プログラムが起動することを確認したら、FC コンシェルジュのユーザー登録を行ってください。
(9 ページへ進みます)

● 起動時にプロテクト設定画面が表示された場合は

起動時にプロテクト設定画面が表示された場合は、コンピューターに装着した USB プロテクトが認識されていることを確認して、「SNS」の「USB ローカル」を選択します。



サーバーに USB プロテクトを装着している場合は、「SNS」の「LAN」を選択します。「サーバー名」に USB プロテクトを装着したコンピューター名を入力して、「TCP/IP ポート番号」が「5093」になっていることを確認します。



※ USB プロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用している場合は、「USB ローカル + LAN」を選択してください。

補足 SNS-LAN-X サーバーの機能

SNS-LAN-X サーバーは、ライセンス情報の管理やサービスの開始/停止などを行うアプリケーションです。スタート画面のアプリ一覧の「FC SNS-LAN-X Server」より「FC SNS-LAN-X サービスコントローラ」を選択すると、次のような画面が表示されます。

The screenshot shows the main window of the 'FC SNS-LAN-X サービスコントローラ' application. It features a table with columns for 'アプリケーション' (Application), 'オプション' (Option), 'ライセンス' (License), and '空き' (Free). A right-hand panel contains control buttons: '開始(S)' (Start), '停止(T)' (Stop), '更新(P)' (Update), '接続ユーザー(U)...' (Connect User...), and 'オプション(O)...' (Option...). A callout box on the right lists the functions of these buttons: Start, Stop, Update, and Connect User. A callout box at the bottom explains the 'オプション' (Option) dialog, which has tabs for '接続' (Connection) and '使用状況ログ' (Usage Log). The '接続' tab shows a 'ポート番号' (Port Number) field set to 5093. The '使用状況ログ' tab is described as recording license availability.

「サーバ」
SNS-LAN-X プロテクトを装着しているコンピューター名が表示されます。

「ユーザ ID」
SNS-LAN-X プロテクトのユーザ ID が表示されます。

「ライセンス数」
同時使用可能なライセンス数が表示されます。

「空きライセンス数」
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

「開始」
サービスを開始します。SNS-LAN-X プロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

「停止」
サービスを停止します。

「更新」
空きライセンスなどの情報を最新に更新します。

「接続ユーザー」
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

「オプション」
接続設定やログファイルを設定します。

「接続」タブ
接続で使用するポート番号を設定します。

「使用状況ログ」タブ
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- 「ポート番号」の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合はプログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- 「使用状況ログ」には「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. 「ログの出力」チェックボックスをオンにし、「パス」に出力先のフォルダを設定します（「間隔」と「最大履歴数」は適宜に設定）。
 2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイル（FcXprc.log）が保存されます。
 4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。